

-目次-

はじめに	1
コミュニティ団体の運営とお金の管理	4

<実務編>

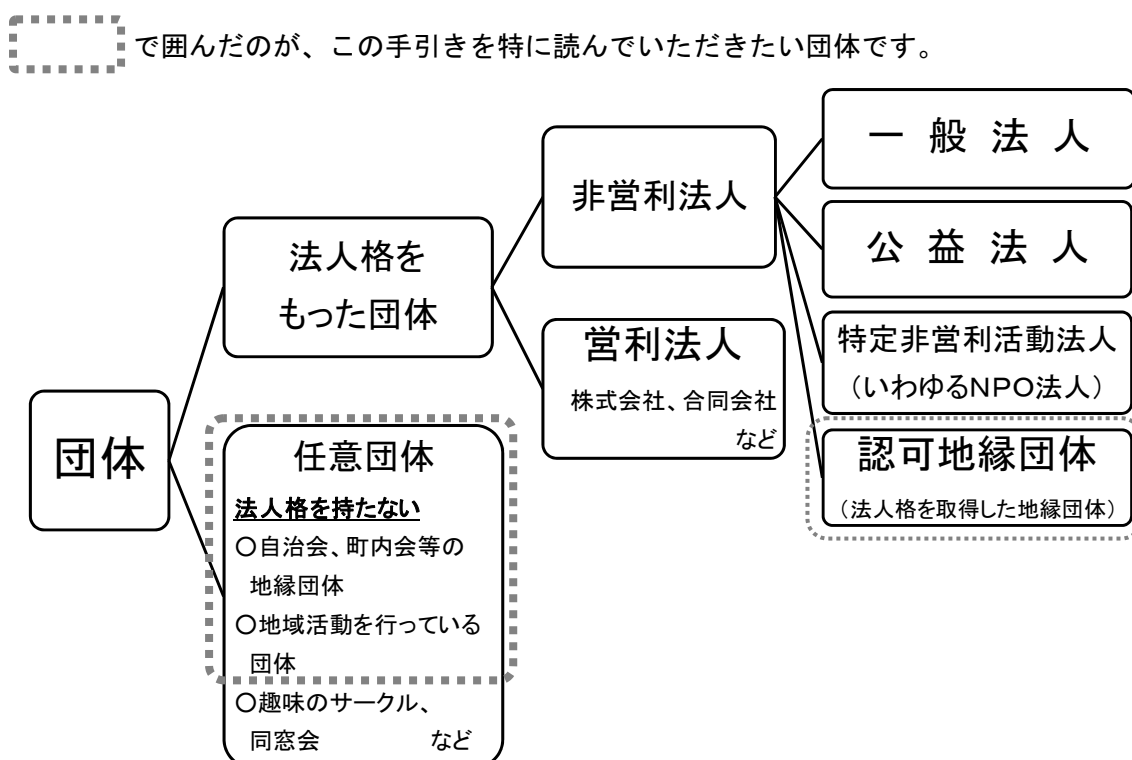
会計の考え方<基本編>	10
会計の考え方<発展編>	24
監査の考え方	48
決算報告書の読み方	62
コミュニティ団体の運営に関するお困りごと相談所	72
コミュニティ団体関連用語集	88
【参考1】 参考様式集	94
【参考2】 会則について	126

# はじめに

地域コミュニティでは、自治会、町内会など地域で活動しているコミュニティ団体やNPO法人（特定非営利活動法人）、株式会社、社団・財団など、様々な形態の団体が、住民生活の向上や地域活性化の分野で活動しています。

これらの団体をその形態で分類すると、次のようになります。

## （図） 団体の分類



このような団体の中で、法人格を持たない団体（任意団体）については、その運営について法律などで決められたルールはありません。この「任意団体」という分類には、コミュニティ団体や、趣味のサークル、同窓会などのうち法人格を持たないものが含まれます。

このような団体が活動していく中では、会計事務などをどう進めたらよいか迷うことがあるという声も聞かれます。

また、認可地縁団体についても、法律などに一定の規定はあるものの、実務については同じような悩みを抱えているところもあります。

当研究会では、こうした団体の運営に携わる皆さんの、「会計事務を任されたが、何から手をつけたらいいかわからない。」「他の団体ではどうやっているのだろう。」という声に応えようと、この手引きの作成に取り組みました。

この手引きで紹介するやり方はあくまで一例であり、この通りにしなければいけないというものではありません。

特に現在活動している団体には、これまで培ってきたそれぞれのやり方があるでしょう。それは様々な経験や話し合いを経て、実情に合うように作られてきたものだと考えられます。また、これから活動を始める団体では、団体の目的や活動に沿った運営ルールを、試行錯誤しながら作り上げていくことになると思われます。

大切なことは、会員同士でよく話し合い、自分たちで自分たちのルールを決めていくことです。この手引きが、ルールを新しく決めたり、見直したりするときの参考になれば幸いです。

なお、この手引きの多くの部分は、コミュニティ団体を想定して書かれていますが、ほとんどの部分については他の任意団体の運営にも通じると考えられます。したがって、これからグループ（任意団体）を作って地域活動を始めようとされている皆さんの参考にもなると思われます。

## ＜本書の構成＞

本書は、コミュニティ団体の運営とお金の管理について基本的な考え方を整理しており、特に＜実務編＞は、実際に運営を行う上で参考になるよう作成しています。

**会計事務に初めて携わる方は、まずは＜実務編＞の「会計の考え方＜基本編＞」をご覧ください。初めにチェックシートに目を通していただければ、基本的な流れと押えておくべきことが分かるようになっていきます。**

**なお、「会計の考え方」には＜基本編＞と＜発展編＞の 2 種類があります。＜発展編＞は＜基本編＞の内容も含んでいますので、はじめから＜発展編＞のみ読むこともできます。**

「監査の考え方」は、チェックシートとともに、ポイントを図にまとめています。こちらに目を通していただき、もっと詳しく知りたい方は、＜詳しい解説＞をご覧ください。

「決算報告書の読み方」は、会員の皆さんが会の活動をよりよく理解できるよう、一般的な決算報告書を例にして、専門用語や数字の意味を解説しました。会計役員や監事でない方にもぜひお読みいただきたいと考えています。

「コミュニティ団体の運営に関するお困りごと相談所」では、実際のコミュニティ団体で起きている課題と、それに対してそれぞれの団体が考え出した解決策の例を紹介しました。

「コミュニティ団体関連用語集」は手引きの中で出てくる用語について、コミュニティ団体の運営の中で使われている意味を整理していますので、必要に応じて参照してください。

最後に、参考として、「会計の考え方」の中で紹介した参考様式をまとめました。なお、こちらは総務省ホームページからダウンロードできます。適宜加工してご活用ください。

また、併せて会則についてポイントをまとめましたので、参考にしてください。